

大一輪・伴営業科長から、数々の威圧行為を受けたことに対し断固抗議する！！

大阪第一運輸所の職場内で約2分間睨まれ威圧行為を受けた！

10月4日、大阪第一運輸所内のクルーミーティングテーブル横（クルーミーティングテーブルには誰も居てない）で大一輪と大二輪の東海労組合員が会話をしていました。するとカウンター中程から、凄みのある視線を感じたので誰なのか確認すると伴営業科長が二人を約2分間睨みつけていました。

二人は、伴営業科長の凄みのある睨みに対し恐怖感を覚えて目をそむけました。伴営業科長から睨まれるような理由など一切なく、大一輪と大二輪の東海労組合員が会話しているだけで凄みのある視線で睨むこと自体がまさにパワハラ行為であり、社員に対する威圧行為です。

後日、睨まれた東海労組合員が伴営業科長に威圧行為に対する確認に行くと「どの立場で来たんや！業務に関係あるんか！（睨んだ）証拠あるんか！濡れ衣や！」と答えました。またまた、どこかのヤク○世界を想わせるような威圧行為を受けました。

普段、営業科長としてどのような指導・教育を行わなければいけない立場であることは重々承知していると思います。自らが威圧行為を止め見本となる行動をすべきではないでしょうか。

また、会社は、社員に対して「規律・規範」教育を行っていますが、その前に伴営業科長を含めた管理者に教育をするべきではないでしょうか。

接客や振る舞いの見本となるべき管理者が職場内で社員を睨みつけ威圧行為を行うのは営業科長としての資質を疑うものです。

伴営業科長に忠告する！！
職場内で二人の社員を睨みつけ
威圧した行為に対して、謝罪せよ！！